

## 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度	平成 24 年度
--------	----------

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	桜木内地区総合型地域スポーツクラブ創設事業			
担当課係名	スポーツ振興 課	スポーツ振興 係	作成者	草薙 正勝
総合計画での位置づけ	施策の大綱	第5章 明日を担う人材を育む教育文化のまち		総合計画のページ  97
	基本計画	4 スポーツ活動の推進とスポーツ施設の整備		
	主要施策	スポーツ活動の振興、充実		
予算費目	一般 会計	10 款 教育費	6 項 保健体育費	1 目 保健体育総務費
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 24 年度		新規/継続の区分	継続
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等	スポーツ振興法			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直 営 <input type="checkbox"/> 直営（一部民間委託） <input type="checkbox"/> 民間委託（全部） <input type="checkbox"/> 補 助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	・市民のスポーツ振興のため。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	・新たに総合型地域スポーツクラブを設立し、地域でスポーツの出来る環境を整える。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	・市内桜木内地区に総合型地域スポーツクラブ設立を目指し、創設準備委員会を数回開催し、各種スポーツ教室を開催する。

【事務事業の推移】

項 目		単 位	23年度実績	24年度実績		
			23年度決算額(千円)	24年度決算額(千円)		
効果	活動指標	創設準備委員会及びスポーツ教室開催回数	目標 回	50	49	
		実績 回	62	53		
		達成度 %	124.0%	108.2%		
	成果指標	スポーツ教室延べ参加者	目標 回	500	500	
			実績 回	658	501	
			達成度 %	131.6%	100.2%	
投下コスト	項 目		総事業費	23年度決算額(千円)	24年度決算額(千円)	
	事業費(人件費を除く)(A)		—	956	1,049	
	人 件 費 (B)		—	424	424	
	職 員 数		—	0.05	0.05	
	職員平均人件費		—	8,479	8,479	
	(A) + (B) 投下コスト		—	1,380	1,473	
	財源内訳	国 庫 支 出 金		—	0	0
		県 支 出 金		—	0	0
		地 方 債		—	0	0
		そ の 他		—	831	961
		一 般 財 源		—	549	512
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	22,258	27,792	
	市民1人当たりのコスト(円)		—	46	50	

【事務事業の今までの成果】

・平成23年度からの継続事業である。6種目のスポーツ教室を実施。子供～高齢者まで参加できる6種目を実施した。  
 ・平成25年3月17日に総合型地域スポーツクラブ（桜木内てくてく倶楽部）設立された。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内に総合型地域スポーツクラブが61団体設立されている。</li> <li>・仙北市内に総合型地域スポーツクラブが「桜木内てくてく倶楽部」を入れて4団体が設立されている。</li> </ul>
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民からの期待は大きい。</li> </ul>

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
<b>A</b>	A 現状のまま継続（実施）	スポーツ振興くじ助成事業を活用し、市民のスポーツ振興・体力・健康増進のソフト事業であり有効である。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

・スポーツ振興くじ助成事業を活用した創設事業については2年間の補助事業であり、設立後については総合型地域スポーツクラブ支援事業及びクラブマネージャー設置支援事業を実施していく。

【二次評価】

判定	判定に至った理由
<b>A</b>	事業は平成25年度までとなっており、終了後は自立運営の方策が重要と考えます。

